

金 沢 大 学 計 算 機 セ ン タ ー

広 報

Vol.7 No.3

利用の手引き特集 文章処理編

1 9 8 4 年 3 月

広 報 小 委 員 会 編 集

KANAZAWA UNIVERSITY

目 次

はじめに	関崎 正夫	1
英論文編集清書機能 (ATF) 入門	関崎 正夫	
はじめに		3
第1章 概要		4
第2章 原稿の入力		5
2. 1 原稿の入力 (タイプライティング)		5
2. 2 ATF用データセット		6
第3章 編集		7
3. 1 原稿のレイアウト		7
3. 2 改行・改ページ		11
3. 3 文字の指定		11
3. 4 要領のいい原稿編集方法		13
3. 5 数式の処理		14
3. 6 実例		20
第4章 デバッグ		23
第5章 NLPへの出力		25
5. 1 Bコマンド		25
5. 2 ATFコマンド		25
5. 3 NLPからの結果のとり出し		26
付表 ATF命令のまとめ		29
ATF (英論文編集清書システム) 使用方法	車古 正樹	
はじめに		31
第1章 ATFの概要		32
1. ATFの概要と命令		32
2. ATF用コマンドの使用にあたって		35
3. ATFの入力データの作成		35

4.	ATFの出力	36
4. 1	文章版を端末に出力する場合	36
4. 2	数式版をNLPに出力する場合	36
5.	数式版の清書済データの保存と出力	38
6.	センタコマンドATFについて	39
第2章	使用方法例	41
1.	数式を含む例について	41
1. 1	図1のデータをNLP出力(図3)する場合	41
1. 2	端末による文章の検索	43
1. 3	数式版を清書済ファイルへ保存する例	44
1. 4	清書済ファイルをNLPに出力する場合	45
1. 5	出力を2枚以上必要とする場合	46
2.	文章版の端末出力について	46
2. 1	端末出力結果について	47
2. 2	指定用紙への出力	47
3.	数式版の取り扱いについて	48
3. 1	式の検索について	49
3. 2	数式ファイルを含む出力	50
第3章	単語のスペルチェック	52
1.	スペルチェックの使用例	52
2.	未定義単語の追加	52
第4章	特殊処理	54
1.	データセットの保存	54
2.	ATFの出力編集	54
3.	小文字変換	55
計算機による日本語文書の作成,..... 関崎 正夫		
	はじめに	57
	文献	57
第1章	入出力機器	59
第2章	原稿の入力	61
2. 1	準備	61
2. 2	新原稿の入力	61
2. 3	訂正	64

2. 4	原稿の保存	69
2. 5	挿入、修正、追加	70
2. 6	編集	75
2. 7	入力に用いられるローマ字等	77
2. 8	図等のいれ方	78
2. 9	特殊文字の入力	79
第3章	特殊用語の登録 — C型 (F6658型) の場合	80
3. 1	辞書フロッピーの準備、コピー	80
3. 2	単語の登録	82
3. 3	登録語の利用法	83
3. 4	登録語の削除	83
3. 5	ひらがな文字による入力	83
第4章	清書出力と後仕末	86
4. 1	出力	86
4. 2	後仕末	87
第5章	注意すべき点	88

日本語文章処理システム入門 —日本語エディタと入出力方法— 車古 正樹

	はじめに	89
第1章	日本語文書処理概要	90
1. 1	日本語文書作成	90
1. 2	日本語ディスプレイ端末	91
第2章	日本語文章入力	92
2. 1	TSSの起動の仕方	92
2. 2	TSSの終了	93
2. 3	データセットについて	94
第3章	初めての日本語文章入力	96
3. 1	日本語入力画面	96
3. 2	実際の入力	97
3. 3	入力がきかない場合	98
3. 4	入力済みの文章表示	99
3. 5	入力中の誤り訂正	99
3. 6	INPUTモードの終了	100
3. 7	入力文章の保存	100

3. 8	モードの切り換え	101
3. 9	盤面上にない漢字コード入力	101
3. 10	タイプライタ型日本語ディスプレイ入力	102
第4章	文章の修正方法	103
4. 1	目的文章の画面表示(表示検索用コマンド)	103
4. 2	少量の変更方法(直接画面上での変更)	103
4. 3	文章の追加・挿入	105
4. 4	文書の複写・移動・削除	106
4. 5	既存文章の組み込み	107
4. 6	文字列の変更(CHANGEサブコマンド)	108
4. 7	カナ変換を使用した入力方法	108
4. 8	入力文章の書式表示(FORMATモード)	109
4. 9	日本語プリンタ出力	111
第5章	出力書式(制御コード)について	112
5. 1	ページと段形式	112
5. 2	基本的な制御コード	113
5. 3	表の作り方	114
5. 4	空白のとり方	118
5. 5	柱定義の仕方	119
5. 6	その他の制御コード	120
第6章	日本語ラインプリンタへの出力	121
6. 1	用紙の割り付け	121
6. 2	出力方法	122
6. 3	NLPへの出力	126
第7章	日本語データセットのいろいろ	129
7. 1	入力済みデータセットのNLP出力	129
7. 2	右筆と日本語エディタ(FDMS)の互換	129
7. 3	フロッピィディスクへの保存と復元	130
第8章	データセットに関するコマンド	131
8. 1	データセット名表示コマンド(LISTC)	131
8. 2	メンバ名表示コマンド(LISTD)	131
8. 3	データセット圧縮コマンド(COND)	131
8. 4	データセットの消去(DELETE)	133
8. 5	データセット名の変更(RENAME)	133

付録	1 3 4
付表 1	特殊キーについて	1 3 4
付表 2	日本語エディタのサブコマンド入力形式	1 3 5
付表 3	日本語エディタのテキスト編集用コマンド	1 3 6
付表 4	制御コード入力形式	1 3 7
日本語文章処理システム入門 —図版組み込みのいろいろ—		車古 正樹
	はじめに	1 3 9
第 1 章	図形データ概要	1 4 0
1. 1	図形作成のためのソフトウェア	1 4 0
1. 2	図版イメージデータ	1 4 1
1. 3	図版の組み込み	1 4 1
1. 4	組み込みの不可能な出力	1 4 2
第 2 章	図版の組み込み	1 4 3
2. 1	A T F の組み込み	1 4 3
2. 2	プロッタ・イメージデータおよび グラフィック・イメージデータの組み込み	1 4 6
2. 3	まとめ	1 4 7
第 3 章	データの図版組み込み	1 4 8
3. 1	パラメータの使用例	1 4 8
3. 2	アンダラインの付け方	1 5 0
3. 3	線出力を含むデータの作り方	1 5 0
3. 4	V形式データの図形化	1 5 2
第 4 章	図版データセットの編集	1 5 3
4. 1	図版E D I Tの実行方法	1 5 3
4. 2	図版の重ね合わせ	1 5 5
4. 3	文書中へのA T F文字の組み込み	1 5 6
第 5 章	コマンドのまとめ	1 5 9
5. 1	Bコマンドの一般形	1 5 9
5. 2	A T F N L P機能の一般形	1 6 0
5. 3	G D P C N V機能	1 6 0
5. 4	P S P C N V機能	1 6 1
5. 5	T X T F M T機能	1 6 1
5. 6	T X T N L P機能	1 6 1

5. 7	ZHNEDT機能	1 6 2
5. 8	ZHNKNG機能	1 6 2
5. 9	ZHNNLP機能	1 6 2
日本語文章処理システム入門 —図形作成システム—		車古 正樹
	はじめに	1 6 3
第1章	FCPの概要	1 6 4
1. 1	特長と構成	1 6 4
1. 2	入出力機能	1 6 4
1. 3	FCPコマンド	1 6 5
1. 4	FCPステートメント	1 6 7
1. 5	ボックス文	1 6 8
1. 6	システム定数	1 6 8
第2章	図形作成使用例	1 7 3
2. 1	FCPコマンドの使用方法和簡単なフローチャート —プログラムの直接入力とFCPコマンド—	1 7 3
2. 2	KNGFCPと日本語文字 —プログラムのデータセットからの入力とライン文—	1 7 6
2. 3	文字列の作画 —文字列の配置と大きさ—	1 7 9
2. 4	簡単な(?) 仕様書の作り方 —各種ボックスの配置と矢印—	1 8 1
2. 5	特殊なボックス文の使用方法和—出力禁止域と斜線の使い方—	1 8 4
2. 6	DO文の使用方法和—軸やメモリの作り方—	1 8 7
2. 7	添字付文字や小文字の取り扱い —簡単な数式の取り扱い—	1 8 8
2. 8	ディジタイザ入力図 —ディジタイザ入力図の組み込み—	1 9 0
	◎ディジタイザ入力手順	1 9 0
2. 9	利用者のパターン定義 —数値データによる標準図形の作り方—	1 9 2
2. 10	作表のための項目式 —表の作り方と項目式—	1 9 4
2. 11	ボックスの重ね合わせと括弧ボックス —カード等の重ね合せ図の作り方—	1 9 6
2. 12	論理ボックス式による作画 —ボックスの和・積・差によるボックスの作り方—	1 9 6
2. 13	ユーザボックスと文字変数	

	—利用者が必要とするボックスの作り方—	198
	◎ボックス定義体の作り方	199
2. 14	マクロ定義の方法 —良く使う図形のサブルーチン化—	201
2. 15	2つのボックスのコーナの結合	
	—結合式を用いたボックスの配置—	203
2. 16	文字配列の任意な文書作成—指定サイズの文書の作り方—	204
	◎出力制御コードについて	208
2. 17	予稿集等の作成方法	
	—縦長B4サイズ（横書き文字）の作り方—	208
第3章	実行方法とFCPコマンド	212
3. 1	実行方法	212
3. 2	FCPコマンド	212
第4章	FCPプログラム（文）のまとめ	218
4. 1	文法と制限事項	218
4. 2	実行制御文	222
4. 3	データ設定文	225
4. 4	ボックス文	226
4. 5	ライン文	230
4. 6	文字作画文	231